

行政改革のさらなる推進 行政改革は、職員のレベルアップから

行政改革の原動力となるのは市職員の力であり、さまざまな方法で人材育成や研修の充実を図ることが、行政サービスの質の向上に結び付くものと考えております。その一環として、職員の社会教育主事などの資格取得を推進します。

また、顧客志向による対人サービスや企画運営など、民間のノウハウを学び、経営型成果主義の事業運営への転換を図るため、民間企業への派遣研修を行うほか、引き続き、省庁への派遣も行ってまいります。

市立病院の充実と改革 子どもと女性に優しい病院めざし 出産2回目以降は費用割引へ

365日24時間体制で新生児の緊急入院に対応できる地域周産期母子医療センターの強味を生かし、「子どもと女性に優しい病院」を目指すとともに、若い世代の方々の定住促進という観点から、市立病院での出産が2回目以降の方については、出産費用の一部を割り引く制度を創設し、利用者の拡大を図ってまいります。



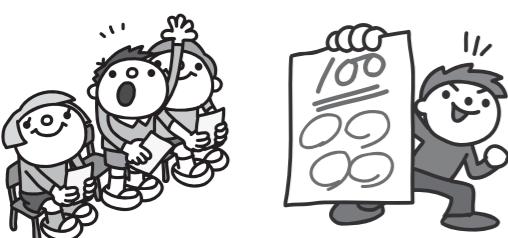
テクスピア大阪を拠点とした地域産業振興の推進 商工会議所と連携し地域産業振興の推進を

平成26年度も引き続き、施設内の改修による貸室の増床など、安定した収益の確保に努めてまいりたいと考えております。収益の安定は、将来の施設利用料の低減を目指すものであり、市民サービスの向上、企業経費の節減につながるものであります。

また、会議所も当該収益を起業支援などの商工業の活性化に充てることで、連携して地域産業振興の推進を図ってまいります。

学習環境の整備、特色ある教育の推進、就学前教育の充実 旭小の増改築に着手 小学校の空調整備へ

旭小学校につきましては、平成26年度から校舎の建て替えと体育館の改修がいよいよ本格的な着手となり、安全で快適な教育環境の確保を図り、地域コミュニティの拠点となるよう、地域に開かれた学校を目指してまいります。



未整備となっていました小学校の空調設備は、平成26年度中に整備完了を目指し、子どもたちの快適な学習環境をさらに充実させてまいります。

就学前教育と小学校教育との連続性、および教育内容の体系化を目指し大学および専門機関と連携し、保育士と幼稚園、小学校の教員が合同で小学校教育につながる指導方法の研究と、体系化したプログラムの開発を行ってまいります。

また、小学校低～中学年での学習内容の到達度を把握し、結果を分析・考察することで、学力向上の手立てを示すとともに、学習でのつまずきに対する支援をしてまいります。

危機管理体制の充実 南海トラフ巨大地震の被害想定を盛り込んだ防災計画を策定

自主防災組織、自治会の皆さん方に参加いただき、昨年度までは図上訓練であった避難所開設訓練を、実際の避難所となる小学校で、避難所開設方法や避難生活物品の使用法、炊き出しなどを体験する実地訓練として実施いたします。

また、地震の揺れ・津波・洪水など複数のハザードマップを見直し、総合防災マップとして一つの冊子にまとめ、市民皆さまの各世帯に配布するなど、防災意識の向上に努めているところです。

平成26年度は、本市の防災対策の基本方針を示す地域防災計画について、国や大阪府より公表された南海トラフ巨大地震の被害想定など最新の知見や情勢を踏まえた改訂を行い、防災対策の総合的な推進を図ってまいります。

平成26年度 泉大津市 施政方針

平成26年度における市長の市政運営に対する基本的な考え方や、主要な施策について、抜粋してお知らせします。全文は市ホームページをご覧ください。問合 企画調整課（市役所4階）

「今日よりも明日を心豊かにする、誰もが住み続けたいまち」をめざして
夢や理想を市民の皆さんと共有
市民の皆さんとともにつくる
総合計画
泉大津市長 伊藤 晴彦

現在、10年後の泉大津市の姿
を描く、第4次泉大津市総合計画の策定を進めています。

総合計画とは、地方自治体における総合的かつ計画的な行政運営を図るために、市政の運営においては、解釈いたしますと、本市の将来像を描き、その夢に向かって理想を語り、理想を実現するために計画を立て、その計画を実行することが夢の実現につながる、そのためには将来への夢を持たなければなりません、そこで、まず、この夢や理想を、市民の皆さんと共有してまいりたいと考えております。

私が心に描く本市の将来像は、市長就任の際にお示しした「今日よりも明日を心豊かにする、誰もが住み続けたいまち」であり、これを市民の皆さんとともに築き上げていくことが、使命と考えております。

私は、その実現にむけて、市民の皆さんと一緒に手を取り、力を合わせて実行してまいりたいと思います。

「重点的に」取り組む分野 ~泉大津市が目指す方向性~

心がかようまちづくり 「セーフコミュニティ」認証めざし 人のつながりを実感できるまちへ

平成26年度から、「セーフコミュニティ」国際認証の取得に取り組んでまいります。

セーフコミュニティ活動とは、事故やケガなどは偶然に起こるものではなく、原因分析のうえ、対策をとれば予防できるという理念のもと、予防に重点を置いた科学的な分析を行い、市民、関係機関、行政など分野を越えた連携や協働により、安心で安全なまちづくり活動を行っていくものです。

この活動によって、人と人とのつながりや連帯感、支え合う意識が芽生え、その結果、地域コミュニティが活性化し、さらには再構築がなされるとともに、不測の災害時の支え合いにも結び付いていくものと考えております。

子育て支援の充実 妊婦健診受診の助成回数を増加 子ども医療費助成の対象年齢を拡大

妊婦の健康診査については、現在の追加受診券による助成を拡充することにより、定期受診の促進を図ります。子ども医療費助成については、通院にかかる医療費助成の対象学年を、これまでの小学2年生までから、小学3年生までに引き上げます。



本年4月には、「泉大津市立くすのき認定こども園」が開園いたします。これに合わせ、楠幼稚園の耐震化事業に着手し、また、「(仮称) 泉大津市立かみじょう認定こども園」の開設に向け、施設を改修し、準備を進めてまいります。

いずみおおつを国際基準の安心・安全なまちに！

「セーフコミュニティ国際認証」の取得をめざします！



世界保健機関（WHO）のセーフコミュニティ協働センターが推奨するセーフコミュニティの認証を受けるための活動を続けると、外傷や事故が起きにくい、安心・安全なまちの実現に近づきます。本市は、この認証取得を目指した事業を展開してまいります。

本市は、安心・安全なまちづくりを実現するため、4月より世界保健機関（WHO）のセーフコミュニティ協働センターが推奨するセーフコミュニティ活動を取り組みます。2年後の認証取得をめざします。

この取り組みは、事故やけがは偶然に起るのではなく、予防できるという理念のもと、行政や医療機関、警察はもちろん、地域で活動されている団体や市民の皆さんと一緒にやって取り組む、いわば「オール泉大津」で安全で安心して暮らすことができるまちづくりを進めるものです。

▽セーフコミュニティのあゆみ

WHOが「世界中すべての人々が健康であることは、安全を達成するための基礎である」という考えのもと、日々の生活において「安全」が健康と安全を達成するための基礎であります。

1970年代にスウェーデンの小さなまちで「けがや事故は防できる」という考えに基づいた活動を始めたのがきっかけです。

WHOが「世界中すべての人々が健康であることは、安全を達成するための基礎である」という考え方のもと、日々の生活において「安全」が健康と安全を達成するための基礎であります。

1970年代にスウェーデンの小さなまちで「けがや事故は防できる」という考えに基づいた活動を始めたのがきっかけです。

心の通う安心安全なまちづくりが進み、市のイメージアップ

WHOが「世界中すべての人々が健康であることは、安全を達成するための基礎である」という考え方のもと、日々の生活において「安全」が健康と安全を達成するための基礎であります。

WHOが「世界中すべての人々が健康であることは、安全を達成するための基礎である」という考え方のもと、日々の生活において「安全」が健康と安全を達成するための基礎であります。

心の通う安心安全なまちづくりが進み、市のイメージアップ

セーフコミュニティに取り組んでいます。先進地であるスウェーデンなどでは、外傷や事故が30%も減少したと報告されています。

セーフコミュニティに取り組んでいます。先進地であるスウェーデンなどでは、外傷や事故が30%も減少したと報告されています。

セーフコミュニティに取り組んでいます。先進地であるスウェーデンなどでは、外傷や事故が30%も減少したと報告されています。



職員研修会の様子

「住みたい、住み続けたいまち・いずみおおつ」をめざしてまいります。

26年度に実施する主な事業

全国に「いずみおおつ」をPR！シティプロモーション事業

「泉大津プロモーション協会」を中心に、「ナンバーワンフェスタ」事業や「夏フェスあります」事業などを行うほか、キャラバン隊を編成し、全国各地で開催されているイベント会場に直接出向き、毛布製品等のPRや販売を行うなど、特産品を主軸としたシティプロモーション事業を行ってまいります。

市民の健康づくりに一役 特定健診が無料に！

国民健康保険事業では、特定健康診査の自己負担金を無料化し、より受診しやすい環境づくりに努め、被保険者の健康保持、増進に努めてまいります。

水道・下水道施設を耐震化

将来予想される巨大地震に備えるため、本市の基幹施設である「中央配水場くらしの水センター」配水池の未耐震施設の耐震化を図ってまいります。また、約40年が経過した汐見ポンプ場の雨水ポンプについて長寿命化計画を策定し、平成26年度より5年をかけて、ポンプおよびエンジンの更新やポンプ棟の耐震化工事も進めてまいります。

「港湾トップセールス」

泉大津港などの港湾地区の振興につきましては、私みずからが先頭に立ち、本市港湾をアピールする「港湾トップセールス」を行ってまいります。

快適に住み続けられる、安全・安心な住まいづくりを応援

住宅リフォームに助成金



人と人とのつながりの大切さ再認識 「地域コミュニティ」の活性化

市民活動団体や市職員を対象としたセミナー・研修会を開催し、地域コミュニティの役割や重要性の再認識、地域づくりに関する知見を深めてまいります。また、NPO法人などの地域活動団体の活動拠点として「市民活動支援センター」を開設してまいります。

地域・民間事業者と協力し 高齢者の見守り活動強化

高齢者に対する施策としましては、住民相互の見守りに加え、府内関係部局ならびに地域の民間事業者との連携を図り、高齢者の見守り活動を推進するほか、集いの場となる老人会所の整備や、徘徊SOSネットワークを強化してまいります。

幼小中一貫した 英語学習の推進

幼・小・中一貫した英会話の体験や英語学習および国際理解教育については、幼稚園、小・中学校へのALT（英語指導助手）派遣事業を実施し、英語でのコミュニケーション能力の向上と国際理解教育の推進を行った取り組みを行ってまいります。

第4次 総合計画策定

現在策定中の「第4次泉大津市総合計画」につきましては、審議会への諮問やパブリックコメントの実施など、引き続き、策定に向けた取り組みを行ってまいります。

住宅リフォーム費用を一部助成します

住宅リフォームを行う市民に対して、当該工事費の一部を助成する制度を新たに創設し、定住促進と耐震改修の促進に取り組んでまいります。

※詳細は下の記事をご参照ください

助成対象者 市内に住宅を所有し、居住していること（住宅の所有者が市税を滞納していないこと）

助成対象住宅 個人住宅、併用住宅または共同住宅で住宅リフォーム工事を行う、または耐震改修と併用して住宅リフォーム工事を行うこと

助成対象工事 ▷住宅リフォーム工事費用が20万円以上 ▷本市の他の制度による助成などを受けていない工事

助成金額 工事費用の10分の1に相当する額（上限10万円）。耐震改修併用の場合は費用の10分の2に相当する額（上限20万円）

問合 まちづくり政策課

